

奇妙な会話

- B じゃあ、きょうはお時間あるんですか？ なら、行きましょ。
- V どこへ？
- B どこかへ。
- V はあ、そこへは行ったことがあります。
- B そうですか。
- V はい。
- B そう、いらっしやったことがあるんですか。
- V ええ、何度も。
- B それじゃあ、しょうがないですね。あなたはそこにいらしたことがない
と思ったものですから。
- V いやいや、とんでもない。
- B それを知らなくてすみません。
- V いや、ご存じなくて当然ですよ。
- B ああ、こんなこと言いたかないんですがね、ペーターはあそこに行った
ことないんですよ。
- V へえ、あのペーターが？
- B ええ。
- V 意外ですな。ほう、あの人あそこに行つてないんですか。
- B ええ、断言はできませんがね。ひよっとすると以前に行ったかもしれま
せんが。
- V ありえますな。
- B ペーターつてそういう人ですよ。どこそこに行くんだと言えば、實際行
きますよ。
- B それじゃあ、あなたはいらしたんですね？
- V ええ、でも長くはいませんでした。
- B それで十分ですよ。
- V そうですね、長くいたつて何の得もありませんよな。時間の無駄です。
- B その通り！ 時は金なり！

V いや、それはちがいます。時間なら、僕はたっぷりある。でも金はないんです。もし時間と同じだけの金が僕にあるとしたら、そしたら時間よりも金の方がたくさんになってしまつう。

B そうなると、あなたには私とどこかに行く時間はないですね。

V そうなるとないけれど、きょうのところはまだ時間があるようですよ。

(再び最初から始まる)